

第5期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第5回）の模様について

2024 年 3 月 27 日

日 本 証 券 業 協 会

<会合の概要>

2024 年 3 月 22 日（金）、第5期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム第5回会合を開催した。

今回の会合では、研究委員2名より研究状況の中間報告が行われ、研究テーマの背景やこれまでの研究で判明した事項、今後の課題等について説明がなされた。

発表者 鷹岡 澄子 研究委員（成蹊大学 経営学部 教授）

テーマ：サステナビリティファイナンスと企業の環境パフォーマンス

ディスカッサント：野村資本市場研究所

江夏 あかね 野村サステナビリティ研究センター長

発表者 行岡 睦彦 研究委員（神戸大学大学院 法学研究科 准教授）

テーマ：金融商品の勧誘・販売・助言に対する法的規律

ディスカッサント：慶應義塾大学 法学部 松元 暢子 教授



意見交換では、鷹岡研究委員の中間報告に対して、ディスカッサントである江夏氏をはじめ、各委員から「国内のグリーンボンドと企業のパフォーマンスを比較する研究はあまりなく、実務家の参考になる」「シグナリング仮説において誰がどういう基準で第三者認証しているかが重要である」といった意見のほか、「アジアとの関係が強い日本企業のスコープ3排出量については、海外投資家の関心も高いが、算出が難しく開示している企業が少ない旨を注釈に記してはどうか」などの提案が寄せられ、活発な意見交換が行われた。また、行岡研究委員の中間報告に対しては、ディスカッサントである松元教授をはじめ、各委員から「リテール投資家へのアドバイスにつき、クローズド・アーキテクチャーとオープン・アーキテクチャーというチャンネルによる整理は考えたことのない視点だった」「利益相反の開示に副作用があるのではという点は指摘されてこなかった」といった意見が寄せられたほか、「金融機関における従業員レベルでのインセンティブ設計は具体的にどのような形が望ましいのか」「本研究は現行の金融商品取引法上の業規制の再構成まで意図しているのか」などの質問が寄せられ、活発に意見交換が行われた。

今後、両研究委員は、本会合における意見交換を踏まえ、論文完成に向けて引き続き研究を進めていく予定である。

以 上